



春夏秋冬

定期総会に思う

広島支部長 出口昌孝

シャープ社友会
広島支部会報
ひびき 第23号

1面	春夏秋冬	主要記事
2～3面	定期総会アルバム	
4～5面	HOW DO YOU DO	
6面	春の旅行ア・ラ・カル・ト	
7面	ゴルフ同好会50回に思う	
8面	社友短信 正反合	

私は、社友会入会後7回目の総会を迎えたことになりました。

本部は第23回、当支部は第9回総会を終えました。社友会には先輩諸氏が、会社の理解と援助のもとに、他社に例の少ない定年退職後の方々が、生き甲斐や親睦を図れる組織活動を通じ健康維持増進を助長できるように、恵まれた会組織と認識しています。

そして、その組織活動を通じて、何らかの形で会社および地域社会に寄与できる機会を持つてると喜び、それを励みにもしています。

会員は、この趣旨に賛同して入会し、期初に年間活動の締めと次年度の方針確認および親睦を図る、定期総会に参加します。日頃、ご無沙汰している友人たちとの懇親の機会も準備されており、また来年の再会を楽しみにして閉会されます。

支部の、主な年間行事は定期総会のあと、秋季親睦旅行・新年会・春季親睦旅行と続きます。ほかに、会員の趣味による同好会活動があり、それらの活動状況を含めた支部情報を“会報ひびき”や会社情報誌“窓”その他により情報提供しています。

支部会員数も115名と発展し、今年度から九

支部活動への参加率

定期総会	39%
春秋旅行・新年会	20～25%(H13/44%・H12/52%)
同好会例会参加	37%
日直当番	26%



平成14年度定期総会 挨拶する出口支部長

州分会は支部として独立し地域性を生かし、益々の発展は喜ばしいことです。しかし、その反面いくつかの、懸念を感じています。

それは、支部行事への参加率低下傾向の問題です。そのため、日常のコミュニケーションはもとより、お知らせ事項が伝わりにくく書類での確認

も、確認頂けたか否か案じています。言い換えれば“自然の法則”に従うという結論になるのかも知れません。

例えば、社友会全体では今年最高年齢の方は米寿を迎えます。当支部では、来年に喜寿を迎える方が最高年齢です。

ところが、健康上の理由からその年齢に至らず、本来ならまだまだお元気…の年齢ですが、計報に接する機会も増えつつあります。

このようなとき、いち早くご連絡できるような“緊急連絡体制”の手続きを制定しましたが、タイムラグよく機能するのかわか。同時に、逆流の情報もいただけるのかさえ、案じています。

会員への書類情報の回付は、郵送（遠距離37%）と社友会室引取り（近距離63%）の状況にあります。近距離の会員はせめて、月に一度は社友会室に顔を見せていただき、情報交流をお願いしております。昨今では、数ヶ月を超えて配布物の放置状態の会員が散見され、健康状態のお伺いを含め消息をお尋ねをしました。

会員数が増加すれば、止むを得ないということではないのか、疑問を感じるこのころです。

各行事への参加率も、参加者対会員数の比率では衰退化の傾向にあり、また行事への参加者の顔ぶれが固定化の傾向もあります。

企画担当の役員は、行事内容の充実と刷新に努め、参加への勧奨を行っています。参加された皆さんはそれなりに満足され、次回へのリクエストも寄せられ、楽しいひと時を過ごすことができている。

この輪がさらに広がり、支部発展に相応しい活動参加になるよう期待しています。

県外より出席の方々
順不同



神戸市
池田正雄さん



境港市
片桐縣二さん



横浜市
江川朝昭さん



大和郡山市
上杉強さん



松江市
杉野雅毅さん



今回選任された
勝さん。
河上幹事とともに同好会
活性化に取り組む。

同好会担当幹事改選



今回退任する濱川康さん。
ウォーキング同好会世話人に専念する。



上 受付風景 下 出口支部長挨拶



吉田九州支部長のご挨拶



平成十四年度広島支部定期総会は、さる5月17日、ラポール広島に会員44名の出席のもとに開催されました。総会の公式議事録は、別途回付されますので当“ひびき”では総会の写真アルバムで報告します。

総会と懇親会 写真アルバム

平成十四年度定期総会 提案とおり承認いただき閉会

広島のみが存在するOG組織《紅葉会》
今年の総会では役員改選も行われた。



写真(上) 平成14年度定期総会に集まられた皆さん。
写真(左) 同じく紅葉会のみなさん。

懇親会では、新会員の自己紹介も恒例行事。



開会前のひととき めったに無い顔ぶれ



恒例により新入会の杉野さんによる乾杯の発声

ボーリング

恒例第17回大会

同好会の実力者

細井さんが優勝

恒例の第17回ボウリング大会は、過去最多の24人（社友会16名・紅葉会2名・会員夫人4名・一般2名）の参加を得て、5月18日賀茂ボールにて開催しました。

今回の初参加者は、社友会の河上さん、一般参加の正岡さん、北垣内さんの3人。前回優勝者の東さんは残念ながら今回不参加。

第1ゲームが終了し、この時点でのトップは牛田夫人。二位の細井さんは194点（スクラッチ）のベストスコアを出すも、ハンデキャップの差で5ピン届かず。三位が吉岡夫人、四位原田さん、五位牛田さん（いずれも社友会員）でトップと五位のピン差は17点と逆転可能範囲。そして第2ゲームでは、細井さんが225点のハイゲーム（ノーマス



賞）をマークして逆転優勝。また、準優勝はハンディを有効に生かし、198点の自己ベストスコアをマークした出口夫人。三位は坂本さん（紅葉会）、四位牛田夫人、五位吉岡夫人と女性パワーに圧倒された大会でした。

さらに、今回の特筆すべきこととして、過去一度も無かった“ノーマス賞”が二人も出るといふハイレベルの大会でもありました。

優勝	細井 博文(社友会)	419点
準優勝	出口起世子(夫人)	378点
第三位	坂本美恵子(紅葉会)	361点
HG賞	細井 博文(男)	225点
	坂本美恵子(女)	201点
NOミス賞	細井 博文(社友会)	225点
	藤田 喜弘(社友会)	190点

(注) 得点中のノーマス賞はスクラッチ、その他はハンデキャップを含む。

なお、今回の18回大会は、9月28日（土曜）を予定しています。初参加者にも優勝のチャンスが大いにあります。多くの参加をお待ちしています。



第17回大会に参加のみなさん

ウォーキング

あるこう会 4〜6月定例会

バラエティに富んだ
コース選択

四月第1回定例会は、早まった桜の開花で、後日予定の八本松石仏巡りの里コースで実施した。

日頃は何気なく石仏の前を通っていたが、改めて路傍に佇む石仏の、それぞれのお顔を見ると、何か親しみを覚える。以降、石仏の前を通るたびに頭を下げたり、立ち止まって手を合わせたり、不思議に思う。

第2回定例会は、東広島運動公園から、黒瀬川沿いに郷田方面に7km

弱を歩いた。

5月定例会は、シャープ健保の要請もあって、チチヤスウォークに合流した。JR宮島口から、チチヤスパークまでの往復7km余りがある。総勢39名のなか、あるこう会は11名だった。

6月第1定例会は、湧永庭園へ。満開の薔薇を鑑賞しながら散策。帰途、土師ダムに立ち寄り満開の桜や紅葉を想像し、ウグイスの囀りを聞きながら堰堤を歩いた。

第2回定例会は、大崎上島へ。標高は低いですが、海拔0からの神峰山（452.6m）に登る。当日は快晴で眺望絶佳。北に竹原の街、右手前に大久野島、右（東）に大三島。南に大崎下島、360度のパノラ



マを楽しんで下山した。



第3工場グラウンドでの例会(練習)。毎週金曜日、7~8月は午前9時~11時。ただし、7月26日及び8月2日は会社行事の関連で休会。

グラウンド
ゴルフ

発足一年を迎えて

七月で発足一年を迎え、暑い時や霜が解けてズルズルのグラウンド、そしてさわやかな秋のシーズンと、一通り経験してきました。

これからは、チャンスを見つけ外へ出て行き、慣れないコースにも挑戦したり、場合によっては誰でも参加できる大会等あれば参加して、腕試しと新たなやりがいもみつきたいと考えています。

同好会の装備も当初は不十分で、8ホール回るべきところ、4ホールを2回まわってきました。社友会からの援助金とメンバーの年会費で6月に念願の残り4ホール分を購入しフル装備となり、練習も変化をもたせることができるようになりました。

ゴルフ

第50回記念コンペ 最大規模の参加で開催

優勝にアンダーパーは絶対条件にしても

コンペ毎の僅差と大差にとまどう

第49回コンペは、平成14年度開幕戦で、舞台を瀬戸内の多島美の眺望が楽しめる新設のシーサイドコースに移した。

生憎と当日は、黄砂混じりの曇天のせい、眺望の方は今ひとつだった。初物コースは気負いがあるのか、成績も全体として今ひとつだった。その中で3アンダーの優勝は、ベテランらしく事前に下見ラウンドをこなしての成績で印象的だった。

第50回コンペは、平成8年12月4日第1回顔見せコンペ以来の、記念コンペとして一区切りをつける大会とした。賞品も通常設定をはるかに超えて用意され、参加者全員に記念

品も準備された。そのせいもあってか、2アンダーをトップに混戦状態で上位グループでは僅差の戦いだった。

第51回コンペは、入梅前の開催を設定したが、当日は猛暑の予報だった。コースも片道1時間程度の遠征的距離でもあり、参加者が少なめだった。

優勝は10アンダーと、準優勝も5アンダーをマークし抜群の成績を残した。練習場に通う回数と、質的レベル向上を求める執念がもたらした結果といえる。すばらしい成長で何が起ころるか予想の立たないのも、特徴かもしれない。

平成14年度第1戦~第3戦の成績

(NETスコア)

第49回コンペ		第50回コンペ		第51回コンペ		
02.04.11瀬戸内		02.05.20安芸		06.07富士三次		
順位	参加者	par	参加者	par	参加者	par
1	山内	-3	増本	-2	原田	-10
2	松本	-1	小林	-1	山口(春)	-5
3	杉山	1	高見	-1	出口	-1
4	相馬W	2	岩永	-1	明石	-1
5	岩永	3	山口(春)	0	杉山	0
6	相馬	5	山口(剛)	1	山内	1
7	奥村	6	鈴木	1	岩永	1
8	出口	7	相馬	1	嵐	2
9	山本(善)	8	片山	1	車角	2
10	高見	10	小谷	3	河上	3
11	車角	11	車角	3	西尾	3
12	山本(昭)	12	大和	3	松本(邦)	5
13	河上	13	山本(博)	5	奥村	7
14	嵐	15	御鈴	5	佐々木	7
15	広瀬	16	出口	6	高見	8
16	原田	17	原田	7	松本(全)	12
17	善久	17	佐々木	7		
18	檜原	18	杉山	8		
19	山本W	27	吉久	8		
20	御鈴	31	山内	9		
21			嵐	9		
22			河上	10		
23			西尾	14		
24			山本W	15		
25			奥村	15		
26			片桐	18		
27			松本	23		
28			相馬W	23		
N.ピン	出口 山本(善)		河上 増本		松本(全) 奥村	
	奥村 相馬		奥村 杉山		出口 車角	



第51回コンペ
優勝の原田さん(中央)
準優勝の山口さん(左)
3位の出口さん(右)



第50回記念コンペ
優勝の増本さん(中央)
準優勝の小林さん(右)
3位の高見さん(左)



第49回コンペ
優勝の山内さん(中央)
準優勝の松本(全)さん(左)
3位の杉山さん(右)

平成14年 春の親睦旅行 ア・ラ・カ・ル・ト

桜を変更してチューリップでした

今年の《春の親睦旅行》は、春の季節に神様の悪戯があつて、旅行予定日には葉桜になってしまいました。企画は紅葉会でしたが、担当の幹事さんも大変でした。予定の変更はいつものことながら、今回もいろいろでした。

□「御衣黄」という呼び名の桜をご存知でしょうか。三刀屋町の川土手で初めて目にしました。緑色の花びらをしていましたが、突然変異にもいろいろありますね。

□桜でまさに名高い、「日本の桜名所一〇〇選」に選ばれた島根県・木次町の桜で花見をするのが、今回のテーマでした。この時期、同じ予定を組んだ方々の、いかに多かったことか。

添乗員さん曰く。我々と同じコースに、広島12・福山11・岡山8・呉6、同じ旅行社だけで計27台の大型バスが集中しているそう。そのりや、大変だ。

□日本三大美人の湯と称する湯の川温泉。混雑の極みは、ここで発生しました。

もともと、温泉入浴は予定を組んでいましたが、この日第1回の湯の川温泉祭りの初日で、各旅館施設が無料開放。

そのイベントと重なったことに加えて、午後ともなれば、宿泊客を迎える旅館が一抜け二抜け、収容能力が急降下。



斐川町のチューリップ公園には、約25種180万株が植えられている。もっとも、咲く時期を調整するから、常にそれだけ満開ではない。球根は、当然販売される。



旅の楽しみのひとつは、お土産を選ぶこと。試食のつまみと冷やかしのこともある。

バス配車も減便。運ばれた旅館では脱衣籠も満員。当然、湯船も満タ。しかし、フロントの館主は満面

大勢での食事も楽しいもの。冷めてしまった会席料理の場合、談笑とアルコールは欠かせない。



の笑みでした。□昼食の「おしながき」を紹介しましょう。

付きたし 菜の花からし酢味噌和え

- 吸物 穂付竹の子、わらび
- 刺身 丸子、鮭、甘海老
- 酢物 紅かに酢
- 焼物 山女塩焼き、焼姫竹味噌煮
- 鍋 寄せ鍋、野菜、海老
- 蒸し物 ホタテ、もち、団子
- 洋皿 茶碗蒸し
- 替鉢 海老フライ、生野菜
- 果物 出雲そば
- 香物 季節物二品

□斐川チューリップフェスティバル。木次の桜が、斐川のチューリップに。
富山には及ばないものの、相当なモノでした。色とりどりの、恰も絨毯の如くに見える、チューリップの海は、参加者だけの特典でしょう。
□湯の川温泉郷にある出雲イリスの丘。源泉を使った足湯にも、浸かりました。少々歩いたのち、いささか気分も良くなりました。なにしろ無料でしたから。



添乗員の《峠 やよい》さん。うるさい客によく耐えまして、楽しませてくれました。謝々。

□平成十四年四月十一日 土曜日。午前八時出発。午後七時十二分帰着。走行三三〇kmの、春の親睦旅行でした。



第50回記念ゴルフコンペに想う

社友会広島支部 ゴルフ同好会会長 嵐 定明

さる5月20日、社友会広島支部ゴルフ同好会第50回記念ゴルフコンペを、安芸カントリークラブで28名（内会員夫人2名）参加のもと開催いたしました。

平成九年、ゴルフ同好会が現支部長出口昌孝氏（当時幹事）の強力なサポートもあり、「会員の親睦と健康な体づくり」をスローガンに十数人でスタートしました。



嵐 定明さん

早いもので、5年余で第50回記念コンペを迎え、同好会会員数も46名（会則による準会員8名含む）となりました。

偏に、関係各位のご協力に感謝いたします。

5年余の経過の中で、特筆すべきことはシングルプレーヤーの山口剛

さんは、平成12年度宮島カントリークラブ・シニア選手権に優勝。翌13年度には、賀茂カントリークラブ・シニア選手権で準優勝されています。

山内孝雄さんは、平成十二年に安芸カントリークラブのシングルプレーヤーに昇格。平成十三年度全国ねんりんピック2001広島大会に、広島県代表に選出され出場されました。

当同好会での、優勝は最近ではアンダーパープレイでないと難しいほど、実力レベルが高くなっていきます。いきおい、メンバーの成績評価が話題になり、したがって努力目標と成績を向上させる独自のトレーニング法も、ミーティングでの話題になっていきます。

私自身、ゴルフ同好会のお世話をさせて頂いて、自分自身の生き甲斐と健康作りにつながっており、筋力アップと足腰鍛錬強化が、体調維持向上に、大きく役立っていると想います。

昨年古稀を迎えても、未だシングルプレーヤーを目指し、トレーニング



昨年の2Rツアー 柳井カントリー倶楽部にて

グに励むことができるのも、ゴルフ同好会のおかげです。

1・2月を除く毎月の月例コンペと、年1回秋の他県1泊2ラウンドコンペの、年間活動スケジュールが定着しました。

これからも、計画性ある同好会活動として継続して開催し、ゴルフ同好会の活動目標である「会員の親睦と健康な体づくり」に寄与していきたいと思っております。

各位の、格別のご支援をいただきますようお願いいたします。

今年も真夏の夜の サマーフェスティバル

と き 8月3日（土） 午後5時開場&オープニングセレモニー
雨天中止

ところ 第3工場グラウンド

内 容 ステージイベント
夜店
打ち上げ花火でのフィナーレ
その他

社友短信

□佐々木和治さん
 ご存知の、広島支部の企画担当幹事さんです。旅行を含む行事の企画から、実施までの面倒と自ら古典芸能を披露し、併せて司会も行いう貴重な存在です。

ところが、もうひとつ顔を持っていました。広島市の北部・可部町に三入下町屋という地域があり、その自治会長もやっています。その、自治会活動が、まことに好評でマスコミの紹介も重なって、地域の活性化にますます熱が入ったようです。

新会員紹介

平成14年4月～6月に入会された方々

- 西口 恵章さん No.2268
- 松本 邦彦さん No.2297
- 稲場 健一さん No.2328

住所・電話・Eメールアドレスなどは、別途会員名簿などを参照ください。

この世の動物や植物のように生命をもって成長を続けていると、やがて成長がにぶり遂には止まって、やがて死を迎える循環をもっていることは誰でも知っています。

社友会の皆様もそれぞれの思いで健康維持には関心をお持ちでしょうが、どんなに健康の宣伝に乗って努力を重ねても、更には、いかに医学が進んでも最後のお迎えを拒否できないことについて、前回この世では「速度と時間」を充分にはコントロール出来ないためであると申し上げました。

しかしこれにも例外があって、例えば、細菌のような細胞、或いはガン細胞などを摘出し適当な温度や栄養素を与え続けると、いつまでも生きて増殖を続けたりする細胞も存在します。生態を急速冷凍や急速解凍して生きたまま保存するという実験も行われております。

先に進みます。常識的に生命を持っていないと思われる金属、石、空気、更には太陽、地球、星などの物質もまた変化を続けて長い期間には、崩れ去って他の姿に変わってしまうのです。生命がない物質ですから動植物の「死」とは異なりますが、やはり前回述べた世界「色即是空 空即是色」正反合の世界なのです。

結論を先に申し上げますと、生命のない物質の「死」を促す大きな原因は「空間と引力」が作用しています。「地球は丸い球の形をしています」という問題に対して子供は「球の下側で逆さになった時の人がなぜ下に落ちないの?」という面白い疑問は誰でも必ず起こします。

正反合(その3の1) 社友会会長 幸実

お母さんの「地球に引力があって吸いつけているからよ」という答えは正しいのですが、地球の何が吸いつけているのかとなると「?」「答えは難しいわね。学校に行くようになると先生が教えてくださるわよ」

学校に行くようになると理科の先生が「萬有引力」といってニュートン博士が、全ての物質には質量があって質量には引力があることを発見した。と教えてくれます。そして例えば、太陽と月と地球の位置が常に変化しているので引力の方向が変わり海の水の満ち干が起るのです。と説明してくれます。しかしその年齢になると「人がなぜ下に落ちないか」という面白く興味のある疑問に対しては恥ずかしくて聞く人はいなくなります。童心を失うからでしょうね。また、話が脱線しますが、へそ曲がり技術者の私は、興味があって面白いこの世の中の現象を難しくして面白くないように説明するのが「学校の先生」だと思っています。

試験をして点数が悪いとお前の頭脳の程度が低いからだ全部生徒の責任にします。学校に限らず一般的に「官庁、官僚の喜んで使う文章は、難しく判り難い」という特徴がありますよね。ですから官公庁内でのお年寄り、唯オロオロするばかり「記入欄が違っています。自分で書き直してください。それが済んだら、3番の窓口に行って収入印紙を購入して貼り付けて、5番の窓口に行って提出して、承認の印をもらってから此方に来て下さい。そうしたら受け付けます」云われた方は、なぜそんなことをしなければならぬのか理解できないのです。心の中では「貴方が知っているなら全部やってくれば早いのに」規則や、やり方を一方的に決めておいて「それが判らないのはお前の頭脳の程度が低いからだ」と庶民を見下す手段にしているからだと勘ぐりたくなります。

□山口春香さんと川田正勝さん
 先ごろ、東広島市中央公民館で、第21回東広島市芸術祭なる催しがありました。山口さん、川田さんともに、地域のサークルで趣味の絵画に魅入られたと、風の便りに耳にしたのは昨秋だったか。
 それで、その芸術祭の絵画の部で入賞6点の内、二人で4点を占めていました。

- 金賞(市長賞) :よその人:
- 銀賞(教育長賞) 「名残惜しい桜花」 山口春香
- 銅賞(文化協会長賞) 「無名」 川田正勝
- 錫賞(文化協会長賞) :よその人: 川田正勝
- 錫賞(文化協会長賞) 「パンジー」 山口春香
- 錫賞(文化協会長賞) 「青島海岸鬼の洗濯板」 川田正勝

編集後記

○「ひびき」第23号をお届けします。

今回は少々手抜きをしました。いつもより写真のポリウムを増やして、キーボードからの入力削減し時間短縮を試みたのですが。

○それだけに、写真画質での印刷が問題で、果たして願望どおりいきますかどうか。

○先日、深いラフで9アイアンを打ち込んだら右手小指の第2関節に異常が発生。突き指状に関節部が肥大化しました。こんなことってあるのかしら。

○今年もサマーフェスティバルがあります。今年だからこそ、止めてはならないのかもし

れません。
(裕)